



高花平だより

2017. 10. 13
第 13 号

四日市市立高花平小学校

10月も2週間が過ぎ、秋の深まりとともに、過ごしやすい気候が続くようになりました。子どもたちも落ち着いて学校生活を送っています。平成29年度も後半に入りましたが、これから修学旅行や地区文化祭での「高花っこ発表会」をはじめ、社会見学や校外学習、体験活動などが各学年で計画されています。日々の学習とこれらの行事の充実で、文字通り「実りの秋」にしていきたいと思っています。

いじめ予防授業

～三重弁護士会による出前授業～

「いじめが進むと、いじめる側は“いじている”という気持ちが薄れていく。“みんなやっているから”“いつもやっているから”と。」 「しかし、いじめられる側の嫌な気持ちが薄れることはない。どんどん傷つけられ、追い詰められていく。」 「いじめの怖いところは、ひどいことをしているということに気付かないまま、相手をどんどん傷つけ、最悪の場合“自殺”にまで追い込んでしまうこと。」 「いじめが原因で自殺する子は、心の中のコップの水があふれるようにして死を選ぶ。最初は大丈夫でも、だんだん溜まっていき、やがていっぱいになる。」 「いっぱい水が溜まったコップはたった一滴であふれてしまう。“キモい”“ウザい”などの何気ない一言が、最後の一滴になるかもしれない。」 「他人の痛みがわかるということは人間としてとても大事なことです。いじめに慣れてしまうと、心の中の他人の痛みを感じる部分がマヒしてしまい、心の大事な部分が欠けた大人になってしまいます。」 「いじめをなくすためには“見ている人”がどうするかが重要。」 「いじめはよくないと注意する。“大丈夫よ”“私はあなたの味方よ”と言ってあげる。そうすると、コップの水が減る、あるいはコップが大きくなる。」 「いじめをなくせるかどうかは、“見ている人”にかかっている。見ていだけじゃなく、勇気を出して行動しましょう。」



9月28日(木)、三重弁護士会の弁護士によるいじめ予防のための出前授業があり、5・6年生の子どもたちが話を聞きました。上の文章は、6年生が受けた授業の一部です。子どもたちは、真剣なまなざしで聞いていました。人間として大切なことを感じとってくれたことと思います。

がんばりました！ 三泗小学校陸上記録会

10月10日(火)、三泗地区の各小学校の代表選手が中央緑地公園の陸上競技場に集まり、陸上記録会が行われました。種目は、100m走、走り幅跳び、ボール投げ、400mリレーです。選手たちは、10月の第1週の放課後に練習をして本番に臨みました。選手以外の6年生もスタンドから応援しました。練習と応援のおかげで、女子400mリレーで見事6位入賞を果たしました。

運動場が少しよくなりました

9月27日(水)、専門の業者に運動場の整地をしていただきました。2～3年に一度、教育委員会が定期的に行う事業です。運動場の表面を薄く削り、新しい土を均一に敷いてローラーで固めました。

